

# 湘子百句、夢と希望

野本 京

黒澤あき緒さんの『あかつきの山』は、「藤田湘子第十句集『神楽』を読む」という連載が一冊になった本である。感動した私は、迂闊にも、連載だったら私にも出来るかも、と思つてしまった。そこで轍郁摩さんと相談して、湘子百句の鑑賞を試みることとなつた。始まりは二〇二〇年の一月一日と決定。週刊で二年間、結果的にこの計画に随分と助けられた。新型コロナ感染拡大の時期と重なつたのである。無聊の日々を、湘子の俳句と対峙することで、いつも通りの日常を維持出来たと思う。

今回は、京と郁摩の共選により対象句を選んだ。

私の好きな「湘子百句」の選に再チャレンジすることが、今の私の夢と希望である。

2021年（R3）12月1日 百句鑑賞を終えて